

笑顔がつくる、はつらつ島根。

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2008.10 October 臨時号

みんなで田畠を守る
島根の農業



9月16日から10月8日まで島根県定例議会が開催されました。この議会での角ともこの一般質問について報告します。

耕作放棄地をなくす

農家の高齢化と担い手の不足により、耕作されない田畠が増えています。そして、荒れ地となつたところは、害獣の住処となり近隣の作物を荒らしたり、害虫の発生源になつたりしています。農業家のやる気を萎えさせてしまいますし、また景観的にも農村の風景を壊わすものです。

県内には地域で一生懸命放棄地の解消に取り組む人たちもいますが、それが広がつていかないのはどのようなことが原因でしょうか。耕作できるようにしても労力を費やしあだけに終わり、収入となる作物が栽培できない、あるいは作つても販路が見えないな

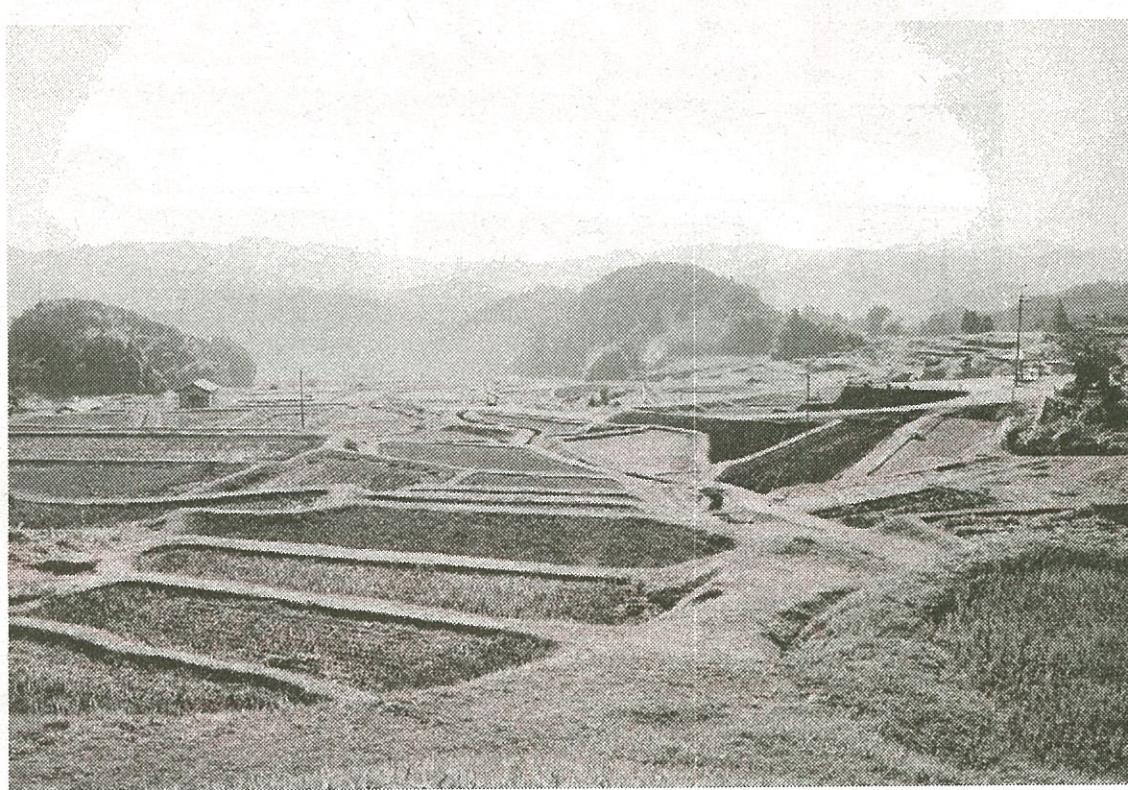
ど農業経営が成り立つていかないということもあります。

今、食糧自給率40%という状況にあって、食の安全・安心が求められる時、農家だけの問題ではなく県民全体の問題として、農業を考えるときが来ています。

質問 耕作放棄地解消には、ただ単に農業従事者や関係者だけで対応するのではなく、県全体の問題として県民がとらえ、参加できるような形にしていく必要がある。そうした仕組みづくりがまず必要ではないか。

農林水産部長 耕作放棄地の問題は、所有者や関係者だけでなく、指摘のとおり、県民の意識を高め、多様な参加を

美しい棚田を守る



稻の刈り入れも終わり、きれいに手入れされた山王寺の棚田

住民の人たちと一緒に、年数回にわたり農作業体験などに取り組んでいます。

私も、松江市忌部町のつい放棄地が増えたことから、危機感を持たれた住民の有志の皆さんが、美しい棚田の復元と地域の活力を取り戻す取り組みを県民の協力を得て始められ、現在では、松江市など

の親子100人近くが、地域の意識を高め、多様な参加を

得ながら活動をつくり出し

はないのか。

ていくことも必要と考えてい

る。県内では、NPO法人が

主催して、菜の花を育てる取

り組みや、都市住民との交流

による棚田の保全などの地域

の農地保全の取り組みが各地

で行われている。こうした活

動が市民レベルや各種団体の

活動としてさらに広がってい

くことが必要と考えている。

まずは、こうした活動事例を

収集・提供し、市民レベルの

活動をサポートしたい。

木造住宅の耐震化

昨年質問した木造住宅の耐震化助成制度が、今年度から実施されました。制度普及への県の取り組みが必要です。

質問 何といっても住宅の耐震化には多額の費用を要し、その工事費 자체を最小限に抑えるために、日常多く使われる部分を中心に部分改修とい

うことにも対応できる制度に変ることについての考え方

土木部長 国は平成27年度

までに100%の耐震性能を有する住宅の割合を9割とする目標を定めている。県もこの枠組みの中で補助制度を実

施しており、現在は100%

の耐震性能を有するものを対象としている。しかし、国でも、部分的な改修について議論が始まっています。國の動向

を注視しつつ、今後の見直しについて研究する。

質問 資産を担保に生活資金を融資する（リバース・モーゲージ）を活用する方法もあるが、この制度の普及もあわせ、使いやすい制度にしていく必要があるのではないか。

土木部長 国は、リバース・モーゲージを扱う金融機関に対し、住宅金融支援機構による支援が検討されていると聞いており、実施となれば、県内の金融機関での取り扱いも期待できることから、引き続き、情報収集に努めていく。

国を変える力に

来る総選挙に向けて、こむろ寿明予定候補の事務所開き

が10月7日ありました。場

所は西津田、檜山トンネル北側のくにびき道路沿いです。

昨年の参議院選挙では、民

主党、国民新党、社民党、連

合が協力し、保守王国と言わ

れたこの島根から、亀井亞紀子さんを国政に押し上げる

ことができました。今度は衆議院選挙で同じ協力体制で政権交代を目指し、**こむろ寿明**さんを応援しています。

こむろさんは、これまで県議員として4期14年、県政

に取り組んできた実績があり、

政治に対する思いは深く、謙

虚で真面目に物事に取り組ま

れる人です。この国の政治を

変える力になります。

「国民の生活

が第一」の政治に変えるのは、有権者一人一人の「**変わらせる勇気**」をもつた行動です。みんなの力で、この国の政治を変えましょう。



こむろ寿明衆議院議員予定候補と亀井亞紀子参議院議員とともに街頭で挨拶